

学校名	草加市立川柳小学校
所在地	埼玉県草加市青柳7丁目27番10号
電話	048-931-5025

1 本校の概要

明治6年1月開校

児童数 528 名 22 学級（特別支援学級 4 クラス含む）

学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」

2 本校の実践

(1) 朝読書の充実

○ 朝読書を週に1回木曜日に実施し習慣化を図る

(2) 読み聞かせ活動の充実

ア 月1回、朝読書の時間に読み聞かせを実施する。



イ 各学級に読み聞かせボランティアの「クレヨンの会」が入り、読み聞かせを実施する。

ウ 読み聞かせボランティア（クレヨンの会）が、読み聞かせ終了後に勉強会を開き、子供たちが読書への興味関心が高められるように読み聞かせ方について検討し、工夫を図る。

エ 年に1回、低学年及び特別支援学級を対象に読み聞かせの朝の時間を15分間延長し、長めの読み聞かせを実施し、読み聞かせの楽しさを味わえるように工夫を図る。

(3) 学校司書による工夫

ア 掲示物の工夫

○ 図書室の壁、本棚等を色紙等で作成した季節に関わる絵を掲示する。

○ その季節に関わる作品（本）を選定し、気軽に手に取って読める位置（カウンター等）に置き、多様な作品（本）への興味関心が高められるように工夫する。

イ しおり作成における工夫

○ しおりの中に子供たちがよく読む本のキャラクターの絵を入れる。

○ 低学年が忘れずに返却できるように、しおりに返却日を記載する。（1年生のみ）

ウ 貸し出し数の分析による工夫

○ 学年学級の本の貸し出し数等を踏まえて、本の紹介コーナー等の掲示を検討する。

エ 配架の工夫

○ 各学年学級での授業に応じた教員からの要望に合わせて必要な本を用意し、配架している。

(4) 図書室利用の指導（1年生）

ア 時期

○ 初めて利用する1年生に向けて学校生活に慣れた6月頃に図書室の利用方法について司書教諭が指導する。

イ 方法

○ 紙芝居「図書館へようこそ」を活用し、本の扱い方や本の借り方を楽しく分かりやすく説明し、利用方法の徹底を図ると共に、図書室への興味関心を高める。

(5) 図書委員会児童による活動

ア 貸出・返却処理、本の整理などの仕事の分担

イ ブックカフェの設置

○ 各学年の教室を配置している廊下等に本を読めるスペースとして机・椅子及び本を複数配置する。

○ 配置する本は、図書委員や職員のおすすめの本を配置すると共に、図書委員児童の紹介文を掲載する。

ウ 読書月間時の工夫

○ 読書ビンゴ

・ カード内にいろいろなジャンルの本に挑戦できるようにビンゴ枠内の内容を工夫する。

・ ビンゴを達成したら手作りのしおりをプレゼントし、より読書への意欲を高める。

エ 掲示物作成による工夫

○ 貸し出し数の多い本をランキングにした掲示物を作成し、読書意欲を高める。



オ 委員会児童による読み聞かせ

○ 朝の読書に時間に特別枠として委員会児童による低学年学級（1、2年生）での読み聞かせを実施する。

(6) 11月読書月間の取り組み

ア 3年生から5年生を対象にしたブックトーク

○ 元公共図書館司書の五十嵐静江様によるブックトークを実施した

イ 図書集会の実施

○ 本に関する○×クイズを図書委員児童が作成し、集会で全児童に問題を出し実施した。



ウ 先生のおすすめの本の掲示

○ 職員がおすすめする本についての紹介文をブックカフェや西門掲示板（11月）に掲示した。



(7) 草加市立中央図書館との連携

ア 川柳小学校図書室の中央図書館職員による市民への開放（日曜日・地域開放型図書室）

イ 中央図書館サービスコーナーとして2週間おきに中央図書館職員によるクラス単位の貸し出しを実施

ウ 学年学級での団体貸出しの実施

3 成果と今後の課題

(1) 成果

○ 図書集会で本に親しむことができた。

(2) 課題

○ 令和4年度が貸し出し数のピークとなったが、その後貸し出し数が減ってきているので、さらに工夫をして貸し出し数を伸ばしていきたい。